

＜新潟大学・地域共創支援活動オンライン説明会＞

- 1 日 時 2021年7月28日(水) 13:30～15:00
- 2 方 法 「Zoom ウェビナー」を使用したオンライン開催
- 3 主 催 新潟大学地域創生推進機構
- 4 参加者 県内の企業、自治体、金融機関、経済団体、大学等の関係者 約 140 人
- 5 内 容

(1) 開 会

(2) 主催者あいさつ

新潟大学地域創生推進機構 副機構長(副学長・工学部教授) 阿部 和久

(3) 地域共創支援活動の概要説明(15分)

- ・地域共創支援活動の概要(趣旨、支援メニュー、活動の流れ等)
- ・共創活動の事例紹介

(4) ミニ講義(60分)

○テーマ 「日本酒学が拓く新潟の未来

～産学金官連携による地域イノベーションエコシステムの形成～

○講 師 新潟大学人文社会科学系(経済科学部)准教授 岸 保行

新潟大学日本酒学センター副センター長



＜テーマ設定の背景・趣旨＞

新潟大学、新潟県及び新潟県酒造組合は、日本酒に係る文化的・科学的な幅広い分野を網羅する学問分野「日本酒学」の構築について、国際的な視点の形成とその発展に寄与することを目的として、2017年5月に三者で連携協定を締結しました。

新潟大学では、この協定に基づき2018年4月に新潟大学日本酒学センターを設置し、総合大学である強みを生かし、広範な研究・教育分野から教員が参加する形で本センターを運営するとともに、学外メンバーとして新潟県、新潟県酒造組合が参加し、三者の力を結集することで、日本酒に係る「教育、研究、情報発信、国際交流」に関する事業を展開しています。

日本酒は様々なモノやコトと組み合わせることで魅力を増す新潟を代表する伝統的な文化的製品です。料理や酒器、さらにはツーリズムやイベントなどと組み合わせることで、日本酒の価値が高まります。

ミニ講義では、日本酒学センターの取組状況や研究成果などをご紹介させていただくとともに、関係者がそれぞれの強みや地域資源を活かしながら共に新たな価値を創造する地域共創活動を展開し、地域創生につなげていく際の参考事例としてお話しさせていただきます。

(5) 質疑応答(10分)

(6) 閉 会

